

# ロシア語

選 択 開講年次：デザイン学部 2 年次前期※ 科目区分：演 習 単 位：1 単位 講義時間：30 時間  
看護学部 2 年次後期  
※平成 28 年度（編入生は 30 年度）以降入学生は 3 年次前期

■**科目のねらい**：基礎である読む・書く・話す・理解する（ロシア語会話で最もよく使われる言葉）ことを学習する。  
ロシアのマナー用語（挨拶・自己紹介・電話での会話など）について学習する。また、ロシア文化についての説明もする。

■**到達目標**：①簡単な文章、例えば会話帳などを読むことが出来る。  
②ロシア語でのメールや絵葉書が書けるようになる。  
③ロシア語での簡単な会話（天気、家族、食事、学校など）が出来る。

■**担当教員**：

ジダーノフ・ウラジーミル

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 アルファベット・エチケットとあいさつ
- 第 2 回 アルファベット・ロシアについてのインフォメーション
- 第 3 回 感謝表現
- 第 4 回 疑問文・謝罪の表現
- 第 5 回 賛成、否定の表現
- 第 6 回 可能、不可能
- 第 7 回 物主代名詞（わたしの、あなたの）・名詞の性
- 第 8 回 家族について
- 第 9 回 動詞
- 第 10 回 名詞の変化・自分について
- 第 11 回 副詞・ロシア語が話せますか？
- 第 12 回 「好き・欲しい／したい・できる」の動詞
- 第 13 回 時間の表現
- 第 14 回 ロシア映画鑑賞
- 第 15 回 ロシア映画鑑賞

■**教科書**：『TEPEMOK 基礎編』を使用する。  
授業毎にコピー資料を配布するので、購入の必要はない。

■**参考文献**：露和・和露辞典があると良い。

■**成績評価基準と方法**：最も重視するのは授業態度で、「授業態度（出席状況含む）：50%・宿題：10%・課題（問題を事前にわたし、それを提出してもらおう／2回実施）：40%」とする。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート					
授業態度	◎	○	◎	積極的な姿勢。	
発表	◎	○	◎	発音重視。	
課題・作品	○	◎		提出期限厳守であること。	20%
出席	◎	◎	◎	時間厳守であること。	50%
その他（ホームテスト）		◎		正確な文法であることを重視。	30%

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：簡単なロシア語の文章の読み書きや会話を習得することがこの授業の目標です。また、ロシアの文化を紹介したいと思います。